

Zoo Cafe 開催

人と動物の共生をめざす動物園プロジェクト主催の「Zoo Cafe」3月19日～21日10:00から16:00まで市立動物園内で開催されました。今回は、行った人がたくさんいるので、皆さんの声を集めてお届けします。人によって見方が微妙に違うのでそのあたりも楽しんでみてください。

ZOO CAFEは動物パン、自然食ゼリー、玉屋珈琲、ジュースと美味しいメニューが人気でしたが、一番よかったのはスタッフの元気、明るさ、優しい心でした。

訪れるお客さんが、みんな気持ちよく買物されて、家族仲良く食べておられる光景に思わず笑顔がこぼれました。(むらき)

動物園カフェ、徒歩10分なのに11:00ごろから参加しました。大規模工事のわりに人が多くてびっくりしました。パンは早くに売り切れました。もっとあるといいのに、と思うのはきっとよっぽぼなのでしょうね。(しの)

21日、動物園に行きました。ジャガーと虎とライオンを見ました。ジャガーはずっと寝ていて、虎はずっと吼えていました。その後帰りました。

当日は残念ながら雨で、来園者もまばらでした。でもそんな中でも小さい子を連れた家族連れがいく組か・・・3世代で来ている方たちもいて、ほのぼのしました。

呼び込みのお手伝いの後、動物パン、コーヒー、ゼリーとたくさん買いましたよ。ハルハウス丹羽さんはとても素敵で面白い方でした。

工事中で楽しみが半減している感じでしたが、完成したらまた来ようと思いました。(下 鴨子)

21日に参加しました。当日は午前中雨が降り、園内の足場が悪かったのですが、そこそこ人出がありました。午後からは雨も上がり、久しぶりの動物園を楽しみました。前号の土岐さんのインタビューにあった柵がガラスになっているところは、確かにとても見やすくなっていました。

カフェではコーヒーと動物パンをいただき、ゼリーをおみやげに買いました。3時ごろには当日京都府会館で行われていたイベント、「ずーどすえ」の参加者が、図書館の中で開催していたパネル展示&解説会に流れて来ていました。皆さんすごく熱心で、フィールドワークやペアリングの記録について、パネルをみながら発表者とQ&Aを繰り返していました。飼育係の方も議論に加わっていて、こういう取り組みはあんまりないんじゃないかと思いました。みんな楽しそうでした。(トントン)



19日の様子。



動物園チームの取り組み。ガラスの柵。動物が良く観察できます。



21日の様子。雨のため図書館入口の横で開店。



大人気の動物パン。イラストも楽しい。

堀川桜祭開催

4月3日(日)一条戻り橋から、二条城前の堀川の遊歩道を利用して、堀川・桜まつりが行われました。

押小路には、伝統工芸プロジェクトがブースを構え、「京の名工」指導による友禅染体験、伝統工芸工房の特別訪問、春らんまんの堀川ウォーキングを実施しました。また、中央ステージでは、100人委員会メンバーである柗木きよみさんと、土岐智賀子さんがMCを勤められました。

「京の名工」指導による友禅染体験は、プロジェクトメンバーである伝統工芸士の和田則昭さんの指導で、小さなテーブルクロスを作るコーナーです。この日は気候が寒く、まつり全体の人手が伸び悩む中で、人気を博していました。

伝統工芸工房を特別訪問のコースは、プロジェクトメンバーである岡田辰雄さんの案内で、友禅の張りの紀平さん、仕立ての坂本さん、刺繍の下司さんの工房を訪問しました。

【勉強したこと その1】着物は1反の反物から切り捨てる部分なく作られているので、ほどけば反物に戻せます。紀平さんでは、仕立直しの際に、風合いの再現のため、実際に反物に戻した物を見せていただきました。坂本さんには、生地を裁ち切ることなく、折り込んで袖の丸みを作る技を見せていただきました。着物は、究極のエコだとおっしゃっていました。

【勉強したこと その2】着物の製作工程は、細かく細分化され、たいへん多くの専門の職人さんで成り立っています。1工程でも欠けると、本当に良い物はできなくなります。にもかかわらず、職人さんが大切にされているとは言えず、多くの工程で後継者不足になっているとのことでした。

京都市民が守っていかなければならないものがたくさんあります。(宇野)



張りの紀平さん



友禅体験の様子



仕立ての坂本さん

(仮称)100人委員会ガイドブック作成プロジェクト 第一回ワークショップ開催

3月26日(土)、中京くらしの工房館で、「ワークショップ ;100人委員会をめぐる冒険 by(仮)「100人委員会パンフレット作成(プレ)プロジェクト」」が開催されました。

ワークショップはプロジェクトリーダー萩原さんの呼びかけに応えた十数名の精鋭が集まり、熱い議論が交わされました。

冒頭、木村モデル形成部会会長による基調講演が行われ、「市民活動について」「第一期、第二期の100人委員会の総括」といった内容が中心で、三期から参加した私のような者にとってはとても勉強になりました。



木村さんの講演

その後の議論では京都市の酒井氏や嘉村事務局長、小辻福祉・コミュニティ部会長、松石観光・交通部会長などがそれぞれの視点から見た100人委員会とその課題を話され、大変興味深く拝聴しました。

聞いていて100人委員会に対する認識の幅の広さを感じるとともに、全体が協調して行動することの難しさも再認識させられました。



参加メンバー

最後に発起人萩原さんより、今後の工程と成果物のイメージが示され、それについてのディスカッションをして閉会となりました。

本プロジェクトは後日プロジェクトとして運営会議で承認されました。時間がない中での取り組みとなりますが、三期初のプロジェクト立ち上げということで、今後も注目して行きたいと思えます。(早崎)

第二回委員アンケート結果

活性化部会では1号に続いて100人委員会の皆さんの情報を集める目的で第二回アンケートを実施しました。

今回は「自分が知っているあの人のこんな良いところ」をご紹介いただきました。人からの推薦ということで、あなたの知っている「あの人」の新たな一面がみられるかもしれません。

回答を見てみると、あらためて多彩な人たちがいることがわかります。趣味の合う人、自分が困っていることを聞いてみたい人、気さくに話しかけてみたい人・・・気になる人がいたら、ワールドカフェやフリータイム、懇親会の席などで話しかけてみてください。たとえば、みつばち通信のこの欄をきっかけにしてみたいはいかがでしょうか。

今回もアンケートの結果はみつばちカフェで見ることができます。大きな文字で読みたい(笑)という方は活性化部会メンバーに尋ねてください。

名前	推薦コメント	名前	推薦コメント
牧田 一穂	まちの学び舎ハルハウスの初の専任職員。まちの縁側活動を身を持って展開推進中。彼の作る雑炊は絶品です。「自律型多目的福祉施設」で、自律を目指してコンピューターを駆使して活動しています。ハートフルな人です。	土橋 正裕	市職員になりたいらしいので、現職の方、アドバイスをしてあげてください。
山地 敏明	高齢者の「終の棲家(ついのすみか)」づくりについて、一貫して活動が続けられる。次なるプロジェクトとして、企業の独自発案のコンバージョンと公的支援策のコラボを検討している。	西端 千晴 (学生PS)	着ぐるみで、どこにでもPRでかけつけてくれます
木村 壽夫	モデル形成部会という、ハードな部長を担っています。第1期よりのメンバーで、これまでも地道なデータの積み上げから発言されています。きっと、明日の協働・共済に向けて、モデルを描いていただけたことを期待します。	田村 剛	実は大相撲が大好きな方です。
美濃部 竜治	とても細やかな気遣いができて、交流関係が広い素敵な方です。	岡本 紳吾	若いのに大相撲ファン。ほんやりしているように、ほんやりしてみたい。やけど、実は結構頑強なタイプ。だらかな性格でいい系ですな。
齋藤 義憲	話し上手でネタ豊富です。しかも面白い。	深田 雄志	日本患者学会の代表理事をやっておられます。私自身がお世話になっておりとにかくアクティブです。おちやらけしているように見えますが、会議の進め方、まとめ方がとても上手です。
神野 洋太	鍼灸院やっていて、すごくていい。しかもイケメン。中国語ペラペラ。	村木 博隆	インタビュー上手。人を使うの上手。文章まとめるの上手
平本 毅	まじめですが、後輩思いで優しく、とても人気があります。また、責任感も強くすてきな方です。	柗木 きよみ & 土岐 智賀子	いつもニコニコ、アクティブで、知識も豊富。バイタリティにあふれています。
藤崎 壮哉	多岐な活動されている方です。伏見にすまわれていますので、「伏見のまちづくり」に関心がある方は、是非、彼に話かけてください。	柗木 きよみ	困っている人を見ると、ほっとしないお話を聞かせてくれます。
藤林 茂二	京都の見どころをよく知っている。英会話が得意。	土岐 智賀子	インタビュー上手。人を使うの上手。文章まとめるの上手
中村 善治	定期的に京都の歴史を学ぶ、街歩きを企画運営されています。	早崎 道人	みつばち通信すばらしいです。編集長魂を感じます。
細川 雄大	お父様のごことは知っていても、息子のごことは意外と知られていない？ 気がきくステキな大学生。酔うとおもしろいですが(写真あり)。「氣」で酔いをさそうとします(笑)。	佐々木 真	ぶっきらぼうに見えるけど本当は親切。面倒くさいといながら、面倒くさいことを始める。みんながちやんと動かないと、時々怒る。先頭に立って引っ張るわけではないのに、みんなが回りに集まってくる。しかも店です。カスミが主食だそう。でも会議や中規模パーティーも、上手にやっています。是非、喫茶YAOMONをご活用ください。まちの歴史ハカセです。まち歩きにはぜひ。
		宇野 通	

委員の横顔、第三回も3人の方をご紹介します。あなたの知っている人はいますか？(土岐・早崎)

お一人目は我が活性化部会より栗山文孝委員。先日活性化部会会議の席でお話を伺いました。

参加されている部会とプロジェクトについて教えてください。

部会は「活性化部会」です。プロジェクトは「岡崎地域魅力発見連続講座『オカシルリレー講座』」に参加しています。

参加のきっかけはなんですか。

もともと岡崎に関わりがあったというわけではないのですが、岡崎周辺の雰囲気が好きだったこと、小林さんに誘われたことがきっかけで参加しました。

美術館の活性化に興味があり、岡崎で市立美術館に関わりたくてこのプロジェクトに参加しました。



美術館についてのプロジェクトがあったんですね。

去年は同じプロジェクトメンバーの井上さんを中心に「子供パスポートプログラム」を行いました。このプロジェクトは小学生が美術館に来るきっかけを提供するために、京都市の全小学校に、「京都市美術館探検パスポート」を配るというものです。

デザイン教育のプログラムを用意し、京都市立蜂ヶ岡中学校美術部の生徒さんにパスポートをデザインしてもらいました。美術館はもともと入館無料なのですが、それが案外知られていなかったんですね。美術館でこのパスポートを持って5回来館でプレゼント、というプログラムを実施したところ、入館者がとても増えたので、やってよかったなと思っています。

ところで、岡崎の魅力はひとことで言うとういう感じになりますか。

うーん、京都にあまりない空気感がありますよね。全体に広々としていて、電線もない。それにやっぱり美術館が良いんですよ。ちょっと偉そうですけども、学芸員のレベルが高いと思います。予算に限られる中、地域の作家の作品を収集して、独自のコレクションを持っています。展示室も自然採光を採っていて気持ちいいですよ。(ここで岡崎ホールディングス社長ニワタエさんがひとこと。「髪を結って洋服を着ているような建物もおもしろいですよ!」)

確かにあのあたりは独特の雰囲気がありますね。話は変わりますが、今期はどのような活動をなさっていますか。

岡崎の魅力を各専門家に学ぶ『オカシルリレー講座』として4月16日にちい岡崎の町歩きを実施します。6月18日、7月31日も岡崎に関する講座を行います(詳細はWEBをご覧くださいませ)。岡崎の魅力を実感してもらえる良い機会なのでぜひ参加してください。

とても楽しそうなイベントですね。またまた話は変わりますが、普段はどのようなお仕事を?

オーダー家具の製造販売をしています。これまでに作った数ですか?そうですね、2000個は超えるんじゃないでしょうか。造り付けのものも多いので建築家の方などと一緒にお仕事させていただくことが多いですね。

オーダーですのでひとつひとつ条件が違います。どうやって作るか、そのプロセスを考えるのが楽しいですね。もちろんひとつひとつ形になるのも魅力です。最近では専門学校で家具デザインも教えていますが、そういう楽しさを伝えていけたらと思っています。

います。そのために、部会を100人委員会内だけの活動に終わらせずに、市民を巻き込んだものにしたいと思っています。その一環として、6-7月頃に、東北・関東大震災の後、改めて「コミュニティについて考える」イベントの開催に向けて準備を始めたところです。まだ計画段階ですが、シンポジウムと同時進行でバザーを開催し義援金を募るなど、復興支援にもなるものにしたいと話しています。

プロジェクトのほうはいかがですか?

目下のところ、京都市内にある21か所の「まちの縁側」の「主人」同士をつなぐ「ハブ(連結機関)」的な役割を担えるように活動しています。実際のところ、「縁側」の運営は大変です。「主人」の方々が活動を継続できるように、情報交換のサポートなどを行っています(編集者注『みつばち通信』第2号「脱無縁社会シンポジウム開催」記事をご参照ください)。

普段はどんなお仕事をされているんですか?

中学校でスクールソーシャルワーカーとして働いています。問題行動を起す子どもたちは学校にとって「困った子ども」かもしれませんが、実は子どもたちを取り巻く家庭や学校、地域、社会の問題を背負わされた「困っている子ども」であるという視点で見ていく必要があります。そうした子どもの背景を理解し、教職員やスクールカウンセラー、関係機関の方々と連携して、子どもたちの最善の利益を目指して支援していくことが仕事です。

お仕事でも、部会やプロジェクトでも、常に人と人、人と社会の絆づくりに尽力されておられる長澤さん。特別なストレス解消法をお持ちに違いないと考「息抜きはどうやってされているんですか」と伺いました。その問いに「こうやって定例会に参加しているときに息抜きですよ」と笑って答えられました。参りました。

お二人目は定例会議の場でお話しした森一代委員。先日事務局の山口さん宅での牡蠣パーティでお会いしていた気安さもあってお願いしました。

参加されている部会とプロジェクトについて教えてください。

部会は「100人委員会・モデル形成部会」です。プロジェクトは『『京都市地下鉄便利マップ』プロジェクト』です。

モデル形成部会ってどんなことをしているんですか。

大きく分けて2つあります。一つは今までの活動で得たものを絵や文にしてまとめること。そして全体行動を企画する作業ですね。

森さんは三期からのご参加だそうですが、なかなか大変では?

そうですね。今は毎回の会議や自分の関わっているプロジェクトについてその都度まとめていくという感じです。

プロジェクトの方はどんな感じですか。

「ドアチカマップ」というものを作っています。地下鉄のどのドアから降りるとどんな施設(エレベーターなど)が近いかというものです。烏丸線についてはもう完成しています。今年の1月に東西線の取材に行ってきた、今そちらもまとめているところです。5月29日に地下鉄開通30周年のイベントがあるんですが、その時に試作品を配布する予定です。このイベント、竹田駅で行われるんですが、10年ぶりに車両基地が公開される予定なので必見ですよ(笑)。

「ドアチカマップ」楽しみですね。がんばってまとめてください。ところで、普段のお仕事は何をなさっているのですか?

今は大学院生ですが、この春修了して、4月からは国立民族学博物館の研究员になります。

それはおめでとうございます。大学ではどのようなご研究をなさっていたのですか。

専門は文化人類学で、研究テーマはラオスの少数民族の出稼ぎについてです。2年ぐらい現地に住んで、たくさんの人たちにインタビューをし、まとめるという研究をしていました。え?ラオス語ですか、「こんにちは」は「サバイディー」です。でも誰に使うんですか(笑)。

話は変わりますが、休日の過ごし方は?

旅行が好きですね。この間鳩間島(八重山諸島)に行ってきたんですが、すごく良かったです。

なぜ活性化部会員にずらりと囲まれながらも、終始笑顔で答えてくれた森さんでした。どうもありがとうございました。



三人目は文字通り突撃した長澤哲也委員。その場での突然のお願いにもかかわらず、快く応じてくださいました。

参加されている部会とプロジェクトについて教えてください。

部会は「福祉・コミュニティ」に、プロジェクトは「つながるKYOTOプロジェクト」に参加しています。部会では、人と人とのつながりが薄くなっている現在、人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

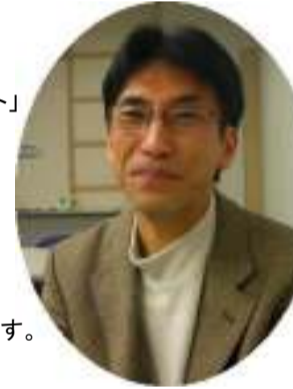
人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで

人と人、人とコミュニティがつながり、助け合えるまちづくりに取り組んで



100 来月の関連イベント

5月8日 オカシルまち歩き

- 日時 5月 8日(日)10:00-12:00
- 集合場所 京阪電鉄鴨東線「神宮丸太町」改札口前
- 参加費、事前申込など下記を参照して下さい <http://www.maimai-kyoto.jp/program/machiaruki/okazaki110508/>

●内容 【岡崎】岡崎・疏水楽百年の夢 ~日本初!水力発電と電気鉄道を生んだ軌跡~
ガイド:岡崎ホールディングス 代表:丹羽妙、メンバー:石部大史
岡崎の疏水沿いを歩けば、心は明治23年(1890)、琵琶湖疏水第一疏水開通式に。「乾杯!」北垣国道京都府知事、田邊朗郎技師ほか、疏水建設に参画した、多くの同志たちの顔が。皆、手には白い杯。晴れやかな笑顔と、涙。17名の殉職を超えて、完成した琵琶湖疏水。疏水はやがて、世界初の営業用電力発電をおこし、まちに電灯を灯し、日本最初の電気鉄道を走らせる。明治初期の危機から、京都が再生していくきっかけとなる。命をかけた事業、琵琶湖疏水へ懸けた夢に、一緒に胸を熱くしませんか? 疏水のドラマを思い描きながら、岡崎をぶらぶら「オカブラ」を楽しむ企画。

5月 29日 おかげさまで30周年 京都地下鉄まつり

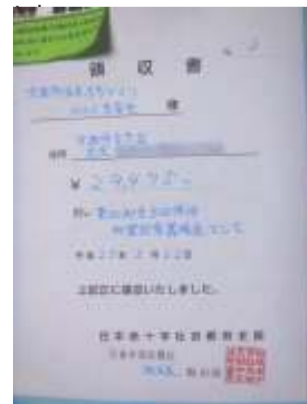
- 日時 5月 29日(日)10:00-16:00(雨天決行、荒天中止)
※ 竹田車両基地会場は15:00最終入場
- 会場 ○竹田車両基地(地下鉄烏丸線「竹田駅」下車すぐ)
○ゼスト御池 河原町広場(地下鉄東西線「京都市役所前駅」下車すぐ)
○御池ギャラリー(地下鉄烏丸線・東西線「烏丸御池駅」構内)
※ 3会場とも入場無料です。
- 主なイベント 【竹田車両基地会場】
○体験・見学
・洗車車両への乗車体験(整理券制)
・車両検査の体験(抽選制)
・軌道自転車への乗車体験
・その他
○ステージイベント、その他
会場、詳細は交通局HP <http://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/page/0000100176.html>



東北地方太平洋沖地震、被災者義援金のご報告

東北地方太平洋沖地震の被災者の方々に少しでも支援するために今月も引き続き義援金を集めます。

今月も定例会議時にはみつばちカフェに募金箱を用意します。先月のはちみつ募金は29,475円集まりました。皆様温かいご協力ありがとうございました。



募金は中京区役所へ持っていきまして。領収書の写真を添付します。



100 編集後記

今月も何とかまとめることができました。今月はイベントも多くそれらをできるだけ取り込もうとしたためいつにも増してぎっしりの内容になっています。読みにくかったらゴメンナサイ。また、取材できなかったイベントもありました。関係者の皆様、今回は頑張ってください。イベントや取材のご連絡は、vitalization2011@gmail.comまでお願いいたします。(早崎)